(仮称) 新·琵琶湖文化館 立地検討資料

文化スポーツ部文化財保護課

候補地について

「琵琶湖文化館機能継承方針」(令和2年3月)の立地についての考え方に基づき、 以下のとおり、候補地(いずれも県有地)を挙げる。

	現近代美術館周辺(瀬田文化ゾーン)	現琵琶湖文化館	周辺(湖岸エリア)
候補地	○瀬田文化ゾーン内	〇大津港港湾業務用地 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	〇ウカルちゃんアリーナ (県立体育館)跡地 中津地会病院 (県立体育館)跡地 東海町 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)
所在地・アクセス	大津市瀬田南大萱町 (アクセス) JR瀬田駅 バス5分→徒歩5分 新名神草津田上IC 5分	【大津港港湾業務用地】 大津市浜町 (アクセス) 京阪浜大津駅 徒歩2分 JR大津駅 徒歩15分 名神大津IC 10分	【ウカルちゃんアリーナ (県立体育館)跡地】 大津市におの浜 (アクセス) JR膳所駅 徒歩15分 JR大津駅 バス10分 →徒歩5分 名神大津IC 10分

候補地の比較

項目	瀬田文化ゾーン	現琵琶湖文化館	周辺(湖岸エリア)
		大津港港湾業務用地	ウカルちゃんアリーナ (県立体育館)跡地
エリア特性	● 近代美術館との回遊性● 文化施設の集積	● 滋賀県を代表する風景である、琵琶湖や 比叡山を望むロケーション	 ● 滋賀県を代表する風景である、琵琶湖や 比叡山を望むロケーション
		京阪神等、大都市圏からの好アクセス社寺等との高い回遊性など、文化財観光の拠点性	◆ 社寺等との高い回遊性など、文化財観光 の拠点性
		● 大津港を活かした、県内観光の拠点性	
用途地域等	● 第1種住居地域(容200% 建60%)	● 商業地域(容400% 建80%)	● 商業地域(容400% 建80%)
	● 第3種高度地区(高さ20m) →2階建てを想定	● 第7種高度地区(高さ45m) →3階建てを想定	● 第7種高度地区(高さ45m) →3階建てを想定
		● 琵琶湖浸水想定区域(概ね0.5m~1.0m)	● 琵琶湖浸水想定区域(概ね0.5m~1.0m)
現状	● 建築可能な用地の確保のためには、 既存建物の撤去または造成が必要	● 既存建物の解体、造成は不要	● 既存建物の解体が必要(既存建物については少なくとも2025年度まで使用)
		● 琵琶湖岸であり、地盤対策や浸水対策を 考慮した設計・諸室配置が必要	● 琵琶湖岸であり、地盤対策や浸水対策を 考慮した設計・諸室配置が必要
	● 駐車場等、既存施設の活用が可能	● 既存駐車場の活用が可能	

大津市の 要望

● 市としては、後継施設については、<u>現在地周辺・なぎさ公園周辺において</u>、文化の発信、観光誘客などの賑わいの創出に資する 新たな拠点施設として整備いただくことを要望する。